

発行：余市協会病院
 発行日：平成27年2月1日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：広報委員会
 お問い合わせ：0135-23-3126



研修医リレーコラム69 「点滴について」

こんにちは。1月に研修させて頂きました堀北 奨です!今日は点滴についてです。よくテレビ番組で点滴をして良くなった、などの報道がありますが点滴の実情について僕たち研修医の視点をお伝えします。

・「点滴」の中にはどんなものが入っているの？

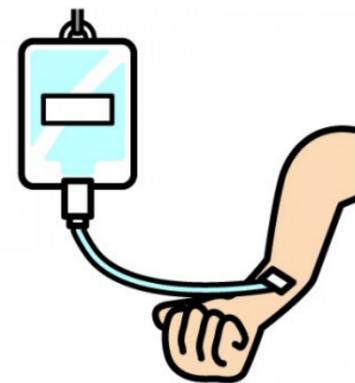
点滴の製剤にはいろいろな種類のものがありますが、救急外来で多く使われるものとして「ソリタT1」「ラクテック」というものがあります。これらの中に入っているものは大きく分けると「水」「塩分」のみです。よく点滴で栄養補給ができると思っている人がいますが、基本的には点滴で補給できる栄養投与量は微々たるものです。したがって、「点滴の目的は栄養補給ではなく、水分補給のみ」となります。

・「点滴」が効く人・必要な人

「胃腸が弱ってしまって、水も飲めないという人」には極めて有効です。こういった人に点滴を行うと、脱水症状がおさまり、みるみる患者さんの顔色がよくなっていきます。*ここで注意したいのが、すべての胃腸炎で点滴が必要かというところではありません。経口摂取が全くできない、飲むと吐いてしまうような人でこそ、意味があるものなのです。

・「点滴」が有害になってしまう人

「心臓が弱っている人」では過剰な点滴をすることで体液量が増えて、弱った心臓にかかる負担が増えてしまい、状態が悪くなる可能性があります。

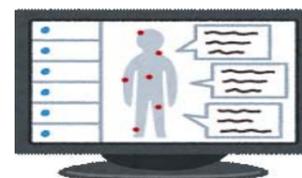


・まとめ

以上のように、点滴というのは「脱水」の症例では極めて有効です。しかし、決して万能なものではありません。病気によっては害があることもあります。そして、点滴をするために針を刺すことは小さいお子さんにとってはトラウマとなりますし、血管が細い方では点滴を取るのに何回も刺される必要があります。風邪の時は抗生物質、点滴をすれば良くなるという噂もあると思いますが、皆さんもこれを機に点滴について考えてみてください! **研修医 堀北 奨**

お知らせです

システム変更に伴う待ち時間について



当院において、平成27年2月16日より、受付から診療・会計まで全て電子化することとなりました。患者様の診療情報管理の徹底とシステム構築により業務改善を行い、スムーズな診療を行う予定でおりますが新しいシステムの為、診療等にお時間がかかる事が予想されます。開始日までに十分な研修を行いますが、あらかじめご理解とご協力をお願い申し上げます。

尚 詳しい変更事項については、後日お知らせ致します



余市協会病院 病院長



救急件数 (1月) 外来受診329件 うち入院43件 救急車来院98件 うち入院31件